

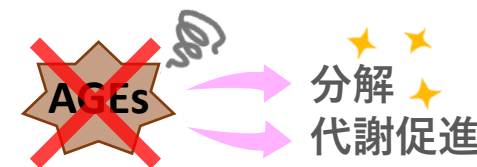
からだサポート研究所では、糖化が身体に及ぼす影響に着目し、2006年から「**AGハーブMIX**」を「**糖化反応を抑制する・AGEs（終末糖化産物）を作らせない**」抗糖化素材として販売している。<https://ebn2.arkray.co.jp/agherbmix/> 

今回新たに「**すでに体内に蓄積されたAGEsをなくす**」をコンセプトに開発した、**AGEsの分解・代謝を促す**3種の抗糖化ハーブMIX「**サトナシール**」に関する3論文を、糖化ストレス研究会web journalに発表した。

AGEsを作らせない
【AGハーブMIX】



AGEsをなくす
【サトナシール】



【①素材の選定】

200種のハーブからスクリーニングを実施。「フェヌグreek、フェネル、ハイビスカス」の3種を合わせて利用することで、高い効果が得られることがわかった。

【②用量設定のためのヒト試験を実施】

3種のハーブを熱水抽出した粉末「サトナシール」100mg/日（低用量群）と300mg/日（高用量群）でヒト試験を実施。低用量群でも、糖化ストレスに関連する美容項目（シワ）で改善がみられた。

【③プラセボ対照試験を実施】

100mg/日でプラセボ対照試験を実施。その結果、サトナシールの摂取によって血中AGEsの低下など糖化関連項目の改善および皮膚のシワ、キメ・色ムラ、褐色シミの改善が認められた。

【論文タイトル】

①OPH活性増強とAGEs架橋切断の作用を併せ持つハーブエキスの探索. *Glycative Stress Res.* 2021, 8(1), 39-44.

〈日本語〉 <https://www.toukastress.jp/webj/article/2021/GS21-04j.pdf>

〈英語〉 <https://www.toukastress.jp/webj/article/2021/GS21-04.pdf>

②探索的臨床試験における混合ハーブエキスの糖化ストレス抑制作用. *Glycative Stress Res.* 2021, 8(2), 87-97.

〈日本語〉 <https://www.toukastress.jp/webj/article/2021/GS21-08j.pdf>

〈英語〉 <https://www.toukastress.jp/webj/article/2021/GS21-08.pdf>

③抗糖化作用に着目した混合ハーブエキスの摂取による美肌作用の評価：ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験. *Glycative Stress Res.* 2021, 8(2), 98-109.

〈日本語〉 <https://www.toukastress.jp/webj/article/2021/GS21-09j.pdf>

〈英語〉 <https://www.toukastress.jp/webj/article/2021/GS21-09.pdf>

クリプトベータ

<https://ebn2.arkray.co.jp/cryptobeta/> 

クリプトベータの機能性規格成分であるβ-クリプトキサンチン（β-CRP）は抗酸化作用の高いカロテノイドの一種で、温州みかんの実に多く含まれている。ヒト試験において、**脂質代謝改善などの抗メタボリックシンドローム効果**が認められている。

【プラセボ対照試験の実施（脂質代謝への影響）】

β-CRPを0.5mg/日でプラセボ対照試験を実施し、12週間摂取による脂質代謝改善について検証した。その結果、プラセボ群に対して、ふだん食生活でβ-CRPの摂取量が少ない人でLDL（悪玉）コレステロールの低下が確認された。

●β-クリプトキサンチン含有食品の摂取が脂質代謝に及ぼす影響—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—。薬理と治療。2020, 48(11), 1935-43.

<http://lifescience.co.jp/yk/yk20/ykj2011.html>



研究レビューを作成しました！



本論文を含め臨床試験を網羅的に効果検証した結果をまとめた「**温州みかん由来β-クリプトキサンチンの摂取によるLDLコレステロール低減効果**」に関する研究レビュー

（SR）を作成しました。β-CRPを規格した『**クリプトベータC15**』（粉末品、β-CRP 1.5mg/g以上、1日推奨量340mg）のサンプルと合わせてご提供いたします。

ビレチン

<https://ebn2.arkray.co.jp/biletin/> 

シイクワシャーの果皮には**ポリメトキシフラボノイド（PMF）**が多く含まれている。当社ではPMF規格したシイクワシャーエキス『**ビレチン**』を用いて、製品摂取量（20mg/日、100mg/日）の2群でヒト試験を行い、両群で**脂質代謝改善および肝機能の改善**を確認している。

【プラセボ対照試験の実施

（脂質代謝・肝機能への影響）】

製品摂取量20mg/日（PMFで2mg/日）でプラセボ対照試験を実施した。その結果、12週間摂取後にプラセボ群に対して、血中の中性脂肪、総コレステロール、nonHDLコレステロール、γ-GTPが低下し、動脈硬化指数の改善が確認された。

●シイクワシャーエキス含有食品の摂取が脂質代謝および肝機能に及ぼす影響—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—。薬理と治療。2021, 49(7), 1123-31.
<http://lifescience.co.jp/yk/yk21/ykj2107.html>



お問い合わせ

アークレイグループ
からだサポート研究所

〈問い合わせフォーム〉

<https://ebn2.arkray.co.jp/contact/> 

TEL : 050-5830-1040 FAX : 075-431-1253